

目標（2） 次世代のために 健全な財政運営を行います



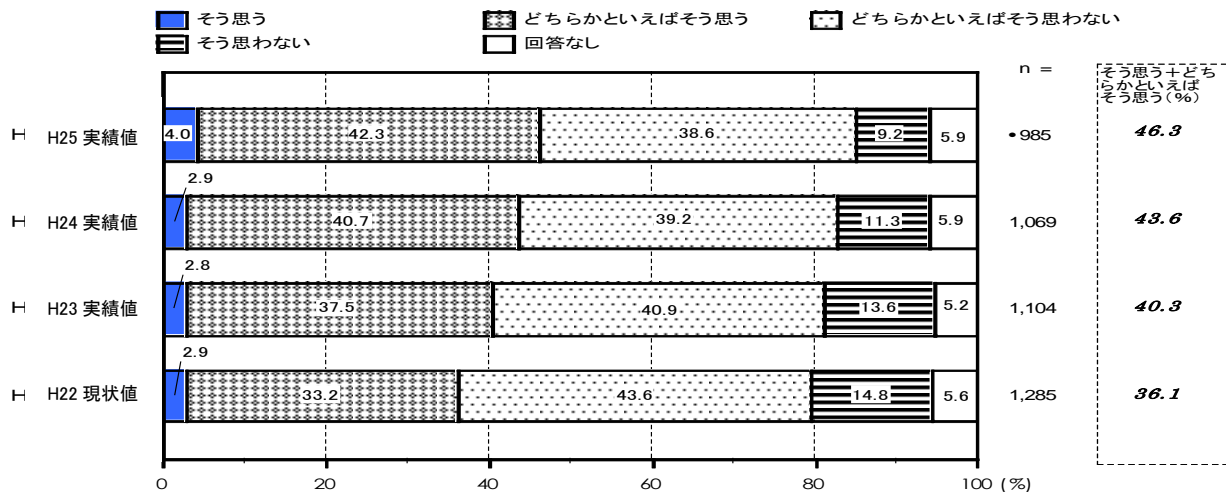
▲わかりやすい財政のお話（財政クイズ）

I. 目標と目標の達成状況

1. 目指す姿	
目標達成に向けての考え方	限られた財源の中で、事業に優先順位をつけて、「あれかこれか」を選択し、メリハリのきいた健全な財政運営を行っていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 事業に優先順位をつけ、「あれかこれか」を選択する仕組みができています。 ◇ 地域の現状や課題をしっかりと把握し、歳出が最適化され、健全な財政運営が行われています。 ◇ 財政に関する情報が市民に浸透し、市民が当事者意識をもって、市の財政状況を見ています。 ◇ 効率的に行政サービスが提供され市民に喜ばれています。

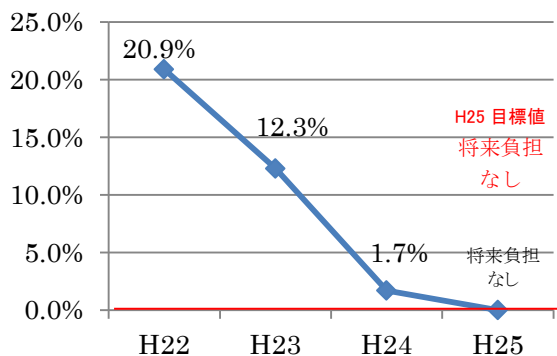
2. 市民意識調査結果

【設問】 将来の世代のために、借入金に頼らず健全な財政運営が行われているまちだと思う

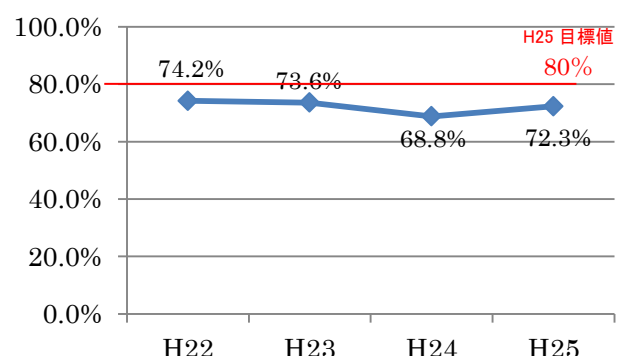


3. 「みんなで目指すまちづくり指標」の状況

1) 将来負担比率



2) 市の財政状況に関心を持っている人の割合



4. 「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する現状分析（要因・課題等）

- ◆「将来負担比率」については、行政のスリム化や借金に頼らない身の丈にあった財政運営、「プライマリーバランス黒字」の堅持、大型公共事業の起債の償還終了により、目標を達成することができた。
- ◆「わかりやすい予算書」の発行や事業仕分けの実施などにより、市の行財政の「見える化」を図ってきたが、「市の財政状況に関心を持っている人の割合」は策定時に比べて若干減少する結果となった。しかしながら、4人に3人近い市民は市の財政に関心があると回答している。年齢別にみると、10歳代（55.6%）、20歳代（51.8%）の若年層の関心度が相対的に低くなっている。
- ◆「健全な財政運営が行われているまちだと思う」との設問に対する市民意識調査の結果は年々上昇しており、財政情報の「見える化」により正確な情報が伝わっていることがうかがえる。

II. 目標達成のための主な取組み

こんなことに取り組みます！	何を・どうした	いつ
★事業の見える化やムダの削減を行うため、事業仕分けの手法を活用します。	①「高浜版事業仕分け」を実施し、事業仕分け委員会から市長へ提言が提出された。	H23.5～10
★予算編成のプロセスや財政状況などを「わかりやすい予算書」などにとりまとめ、市民にわかりやすくお伝えするとともに、考えることができる環境を整えます。	①「わかりやすい予算書」（当初予算編・決算編・税金編など）を市民とともに編集・発行した。	H23.5～H25.11
	②広報へ市民の知りたい財政情報（わかりやすい財政のお話・借金時計・預金通帳など）や財政クイズを定期的に掲載した。	H24.4～H26.3
★公共施設の今後のあり方を市民とともに考えます。	①職員プロジェクトチームを発足させ、「公共施設マネジメント白書」をとりまとめた。	H23.5～H23.12
	②専門家や市民を交えた「公共施設あり方検討委員会」を開催し、公共施設あり方計画（案）が提言された。	H24.8～H25.3
	③各公共施設の具体的な保全計画を定める「公共施設保全計画（案）」を作成した。	H25.4～H26.5
☆財政計画に基づき、施策・事業の実施にあたっては、緊急度や必要性などをもとに優先順位をつけるなど、メリハリのきいた予算編成に取り組みます。	①平成22年度に策定した「高浜市中期財政計画」を、社会経済情勢を踏まえて見直した。	H23.10、H24.9
	②「予算編成会議」を設置し、新たな予算編成の仕組みを構築した。	H24.8
	③総合計画の中期基本計画における「財政見通し」を作成した。	H25.9
☆市民サービスの向上につながるものについては、国・県・近隣市などをはじめとした関係機関との広域的な連携を行います。	①定住自立圏共生ビジョン（計画期間：H24～H28年度）を策定し、医療健康、公共交通、観光、共存協働の4分野について、圏域市町（刈谷市・知立市・高浜市・東浦町）と連携した事業（例：刈谷豊田総合病院と診療所との病診連携）を実施した。	H24.3～H26.3
☆行つべき仕事にあわせて組織を構築し、目標を実行・達成するための体制を整えます。	①経営改革プロジェクトにおいて、行政機能の効率化推進に向けた行政組織と人事評価制度のあり方について検討した。	H23.4～H24.3

III. 課題と今後の取組みの方向性

課題	今後の取組みの方向性
①事業の優先順位づけ・選択の仕組みの構築 ・よりよい仕組みとするための検証・改善が必要である。	◇ これまで経験してきた「高浜版事業仕分け」や「行政評価」の経験を基に、「行政サービスのあり方」について調査・検討する。
②公共施設に関する計画を踏まえた財政運営 ・公共施設に関する計画内容を踏まえた財政運営を行うことが必要である。	◇ 「公共施設あり方計画（案）」を踏まえ、「長期財政見通し」を策定し、検証・見直しを行う。PDCAサイクルによる計画の見直しができる仕組み作りを検討する。 ◇ 市民にわかりやすく財政情報を提供する。自主財源の確保や受益者負担の適正化の観点から「受益と負担」の設定基準をつくる。
③効率的な行政サービスの提供 ・さらなる効率的な行政サービスの向上を目指していく必要がある。	◇ 定住自立圏共生ビジョンに基づき、広域連携を推進する。 ◇ 行政運営の効率化については、職員力の更なる向上と合わせて一体的に取り組む。

IV. 第6次高浜市総合計画推進会議 コメント